

I 平成29年鉱工業指数の動向

1 概況

平成29年の本県の鉱工業指数(原指数)は、平成27年を100.0とした年平均で見ると、

生産指数は92.4となり、対前年比で5.5%の上昇となった。
 生産者出荷指数は83となり、対前年比で2.0%の上昇となった。
 生産者製品在庫指数は74.2となり、対前年比で6.4%の低下となった。

本県鉱工業の推移をみると、生産指数は平成26年から3年ぶりに上昇となった。出荷指数は平成26年から4年ぶりに上昇となった。在庫指数は平成27年以降3年連続で低下した。

生産指数の上昇要因を業種別にみると、窯業・土石製品工業、金属製品工業、食料品工業などの上昇により、全体として対前年比5.5%の上昇となった。

出荷指数の上昇要因を業種別にみると、窯業・土石製品工業、食料品工業、金属製品工業などの上昇により、全体として対前年比2.0%の上昇となった。

在庫指数の低下要因を業種別にみると、化学・石油製品工業、窯業・土石製品工業、鉄鋼業などの低下により、全体として対前年比6.4%の低下となった。

第1表 鉱工業指数(原指数)・対前年比(%) 平成27年=100.0

	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
生産指数	101.1	101.9	100.0	87.6	92.4
前年比(%)	—	0.8	▲ 1.9	▲ 12.4	5.5
出荷指数	106.3	105.1	100.0	81.4	83.0
前年比(%)	—	▲ 1.1	▲ 4.9	▲ 18.6	2.0
在庫指数	98.7	109.8	100.0	79.3	74.2
前年比(%)	—	11.2	▲ 8.9	▲ 20.7	▲ 6.4

第2表 鉱工業指数(季節調整済指数)・対前期比(%) 平成27年=100.0

	平成28年				平成29年			
	I期	II期	III期	IV期	I期	II期	III期	IV期
生産指数	86.8	86.1	88.0	90.5	92.6	92.5	93.3	89.9
前期比(%)	▲ 11.0	▲ 0.8	2.2	2.8	2.3	▲ 0.1	0.9	▲ 3.6
出荷指数	89.3	79.1	78.3	79.9	82.1	86.3	83.2	79.7
前期比(%)	▲ 7.2	▲ 11.4	▲ 1.0	2.0	2.8	5.1	▲ 3.6	▲ 4.2
在庫指数	90.1	76.4	76.8	74.0	73.1	73.8	74.3	75.4
前期比(%)	▲ 6.9	▲ 15.2	0.5	▲ 3.6	▲ 1.2	1.0	0.7	1.5

第1図 鉱工業指数の推移



※年指数は原指数、四半期別指数は季節調整済指数

(1)生産

生産指数(指数水準92.4、対前年比5.5%増)

生産の上昇に寄与した業種は、窯業・土石製品工業、金属製品工業、食料品工業などの9業種であった。

生産の低下に寄与した業種は、なかった。

四半期別にみると、次のとおりである。

I期(指数水準92.6、対前期比2.3%増)

生産の上昇に寄与した業種は、食料品工業(対前期比7.8%増)などの3業種であった。

生産の低下に寄与した業種は、金属製品工業(対前期比8.5%減)などの6業種であった。

II期(指数水準92.5、対前期比0.1%減)

生産の低下に寄与した業種は、食料品工業(対前期比4.1%減)の1業種であった。

生産の上昇に寄与した業種は、金属製品工業(対前期比5.7%増)などの8業種であった。

III期(指数水準93.3、対前期比0.9%増)

生産の上昇に寄与した業種は、窯業・土石製品工業(対前期比4.4%増)などの6業種であった。

生産の低下に寄与した業種は、食料品工業(対前期比6.4%減)などの3業種であった。

IV期(指数水準89.9、対前期比3.6%減)

生産の低下に寄与した業種は、金属製品工業(対前期比8.4%減)などの6業種であった。

生産の上昇に寄与した業種は、鉄鋼業(対前期比3.0%増)などの3業種であった。

第3表 業種別生産指数の動き

平成27年=100.0

	ウェイト	原指数			季節調整済指数						対前年(期)上昇率(%)					
					28年	29年				原指数	29年	季節調整済指数				
		27年	28年	29年	IV期	I期	II期	III期	IV期	28年	29年	I期	II期	III期	IV期	
鋳工業	10000.0	100.0	87.6	92.4	90.5	92.6	92.5	93.3	89.9	▲12.4	5.5	2.3	▲0.1	0.9	▲3.6	
鉄鋼業	353.7	100.0	92.7	109.4	97.2	103.4	110.1	109.4	112.7	▲7.3	18.0	6.4	6.5	▲0.6	3.0	
金属製品工業	1340.2	100.0	92.9	101.4	106.7	97.6	103.2	107.7	98.6	▲7.1	9.1	▲8.5	5.7	4.4	▲8.4	
窯業・土石製品工業	1794.1	100.0	87.8	99.3	90.1	97.0	97.3	101.6	101.2	▲12.2	13.1	7.7	0.3	4.4	▲0.4	
化学・石油製品工業	697.6	100.0	49.8	51.1	49.3	47.2	51.7	54.7	48.4	▲50.2	2.6	▲4.3	9.5	5.8	▲11.5	
プラスチック製品工業	171.9	100.0	102.9	103.1	111.5	88.7	110.3	106.8	107.4	2.9	0.2	▲20.4	24.4	▲3.2	0.6	
パルプ・紙・紙加工品工業	160.2	100.0	96.9	99.2	98.1	97.9	98.5	102.1	99.4	▲3.1	2.4	▲0.2	0.6	3.7	▲2.6	
食料品工業	4534.5	100.0	87.4	89.2	87.9	94.8	90.9	85.1	84.0	▲12.6	2.1	7.8	▲4.1	▲6.4	▲1.3	
その他の工業	809.0	100.0	104.1	104.3	107.5	103.0	104.2	104.9	105.3	4.1	0.2	▲4.2	1.2	0.7	0.4	
窯業	138.8	100.0	88.7	91.8	84.8	83.7	88.2	101.9	95.5	▲11.3	3.5	▲1.3	5.4	15.5	▲6.3	

注)その他の工業は、非鉄金属工業、印刷業、繊維工業を統合したものの。

(2) 出荷

出荷指数(指数水準83、対前年比2.0%増)

出荷の上昇に寄与した業種は、窯業・土石製品工業、食料品工業、金属製品工業などの6業種であった。

出荷の低下に寄与した業種は、化学・石油製品工業、その他の工業、プラスチック製品工業などの3業種であった。

四半期別にみると、次のとおりである。

I 期(指数水準82.1、対前期比2.8%増)

出荷の上昇に寄与した業種は、食料品工業(対前期比7.8%増)などの5業種であった。

出荷の低下に寄与した業種は、金属製品工業(対前期比8.2%減)などの4業種であった。

II 期(指数水準86.3、対前期比5.1%増)

出荷の上昇に寄与した業種は、化学・石油製品工業(対前期比45.2%増)などの9業種であった。

出荷の低下に寄与した業種は、なかった。

III 期(指数水準83.2、対前期比3.6%減)

出荷の低下に寄与した業種は、食料品工業(対前期比6.6%減)などの2業種であった。

出荷の上昇に寄与した業種は、窯業・土石製品工業(対前期比2.6%増)などの7業種であった。

IV 期(指数水準79.7、対前期比4.2%減)

出荷の低下に寄与した業種は、食料品工業(対前期比3.4%減)などの7業種であった。

出荷の上昇に寄与した業種は、窯業・土石製品工業(対前期比0.8%増)などの2業種であった。

第4表 業種別出荷指数の動き

平成27年=100.0

	ウェイト	原指数			季節調整済指数						対前年(期)上昇率(%)					
					28年	29年					原指数		H29年 季節調整済指数			
		27年	28年	29年	IV期	I 期	II 期	III 期	IV 期	28年	29年	I 期	II 期	III 期	IV 期	
鋳工業	10000.0	100.0	81.4	83.0	79.9	82.1	86.3	83.2	79.7	▲ 18.6	2.0	2.8	5.1	▲ 3.6	▲ 4.2	
鉄鋼業	516.7	100.0	96.6	108.8	101.2	105.9	108.7	114.6	105.9	▲ 3.4	12.6	4.6	2.6	5.4	▲ 7.6	
金属製品工業	934.6	100.0	91.9	100.0	106.2	97.5	102.6	106.3	95.7	▲ 8.1	8.8	▲ 8.2	5.2	3.6	▲ 10.0	
窯業・土石製品工業	1377.8	100.0	87.9	101.0	89.7	97.9	100.2	102.8	103.6	▲ 12.1	14.9	9.1	2.3	2.6	0.8	
化学・石油製品工業	1823.3	100.0	26.3	10.8	10.2	9.3	13.5	11.5	9.7	▲ 73.7	▲ 58.9	▲ 8.8	45.2	▲ 14.8	▲ 15.7	
プラスチック製品工業	164.0	100.0	103.9	103.2	106.0	102.4	103.6	108.1	97.8	3.9	▲ 0.7	▲ 3.4	1.2	4.3	▲ 9.5	
パルプ・紙・紙加工品工業	163.4	100.0	95.8	98.8	97.0	97.3	98.7	101.5	98.9	▲ 4.2	3.1	0.3	1.4	2.8	▲ 2.6	
食料品工業	4332.2	100.0	93.8	96.5	92.7	99.9	100.6	94.0	90.8	▲ 6.2	2.9	7.8	0.7	▲ 6.6	▲ 3.4	
その他の工業	583.9	100.0	105.5	102.9	106.3	102.0	102.3	103.5	104.0	5.5	▲ 2.5	▲ 4.0	0.3	1.2	0.5	
鋳業	104.1	100.0	87.7	99.2	85.7	90.4	101.4	110.0	96.6	▲ 12.3	13.1	5.5	12.2	8.5	▲ 12.2	

注)その他の工業は、非鉄金属工業、印刷業、繊維工業を統合したもの。

(3)在庫

在庫指数(指数水準74.2、対前年比6.4%減)

在庫の低下に寄与した業種は、化学・石油製品工業、窯業・土石製品工業、鉄鋼業などの5業種であった。

在庫の上昇に寄与した業種は、金属製品工業、その他の工業、プラスチック製品工業などの4業種であった。

四半期別にみると、次のとおりである。

I期(指数水準73.1、対前期比1.2%減)

在庫の低下に寄与した業種は、金属製品工業(対前期比9.1%減)などの6業種であった。

在庫の上昇に寄与した業種は、化学・石油製品工業(対前期比8.8%増)などの2業種であった。

II期(指数水準73.8、対前期比1.0%増)

在庫の上昇に寄与した業種は、化学・石油製品工業(対前期比15.1%増)などの5業種であった。

在庫の低下に寄与した業種は、金属製品工業(対前期比13.2%減)などの4業種であった。

III期(指数水準74.3、対前期比0.7%増)

在庫の上昇に寄与した業種は、金属製品工業(対前期比10.8%増)などの7業種であった。

在庫の低下に寄与した業種は、食料品工業(対前期比2.7%減)などの2業種であった。

IV期(指数水準75.4、対前期比1.5%増)

在庫の上昇に寄与した業種は、食料品工業(対前期比3.7%増)などの6業種であった。

在庫の低下に寄与した業種は、化学・石油製品工業(対前期比14.2%減)などの3業種であった。

第5表 業種別在庫指数の動き

平成27年=100.0

	ウェイト	原指数			季節調整済指数						対前年(期)上昇率(%)					
					28年		29年				原指数		29年 季節調整済指数			
		27年	28年	29年	IV期	I期	II期	III期	IV期	28年	29年	I期	II期	III期	IV期	
鋳工業	10000.0	100.0	79.3	74.2	74.0	73.1	73.8	74.3	75.4	▲ 20.7	▲ 6.4	▲ 1.2	1.0	0.7	1.5	
鉄鋼業	813.0	100.0	83.4	72.6	72.4	71.2	70.0	71.0	77.8	▲ 16.6	▲ 12.9	▲ 1.7	▲ 1.7	1.4	9.6	
金属製品工業	534.3	100.0	91.9	99.3	103.1	93.7	81.3	90.1	111.9	▲ 8.1	8.1	▲ 9.1	▲ 13.2	10.8	24.2	
窯業・土石製品工業	1231.9	100.0	91.4	83.9	89.3	87.7	83.9	84.6	79.6	▲ 8.6	▲ 8.2	▲ 1.8	▲ 4.3	0.8	▲ 5.9	
化学・石油製品工業	2800.2	100.0	32.6	20.3	17.0	18.5	21.3	22.6	19.4	▲ 67.4	▲ 37.7	8.8	15.1	6.1	▲ 14.2	
プラスチック製品工業	143.0	100.0	118.1	127.1	120.1	120.3	124.9	129.3	133.6	18.1	7.6	0.2	3.8	3.5	3.3	
パルプ・紙・紙加工品工業	91.6	100.0	107.1	114.9	110.1	107.7	113.8	121.1	116.7	7.1	7.3	▲ 2.2	5.7	6.4	▲ 3.6	
食料品工業	3415.0	100.0	98.6	97.0	98.4	97.0	97.5	94.9	98.4	▲ 1.4	▲ 1.6	▲ 1.4	0.5	▲ 2.7	3.7	
その他の工業	177.2	100.0	88.6	100.4	82.1	85.9	97.6	106.3	111.1	▲ 11.4	13.3	4.6	13.6	8.9	4.5	
鋳業	793.8	100.0	117.0	115.7	120.5	120.0	115.9	113.0	113.7	17.0	▲ 1.1	▲ 0.4	▲ 3.4	▲ 2.5	0.6	

注1)その他の工業は、非鉄金属工業、印刷業、繊維工業を統合したもの。

2 業種別の動向

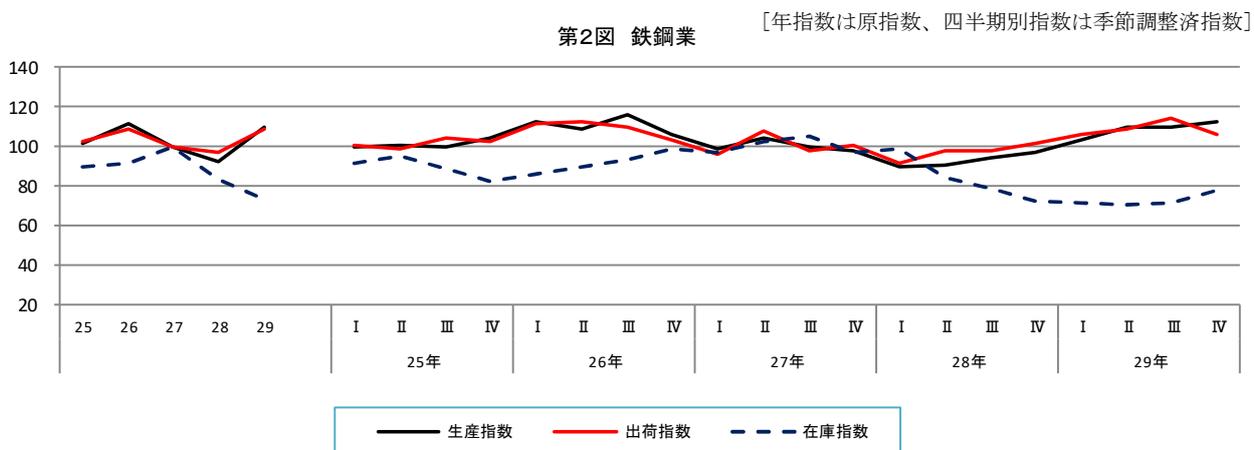
(1) 鉄鋼業

生産指数（原指数）は109.4（対前年比18.0%増）となった。

出荷指数（原指数）は108.8（対前年比12.6%増）となった。

在庫指数（原指数）は72.6（対前年比12.9%減）となった。

また、四半期の生産指数（季節調整済）をみると、対前期比でⅠ期は6.4%、Ⅱ期は6.5%と上昇しⅢ期は▲0.6%と低下したものの、Ⅳ期は3.0%と再び上昇した。



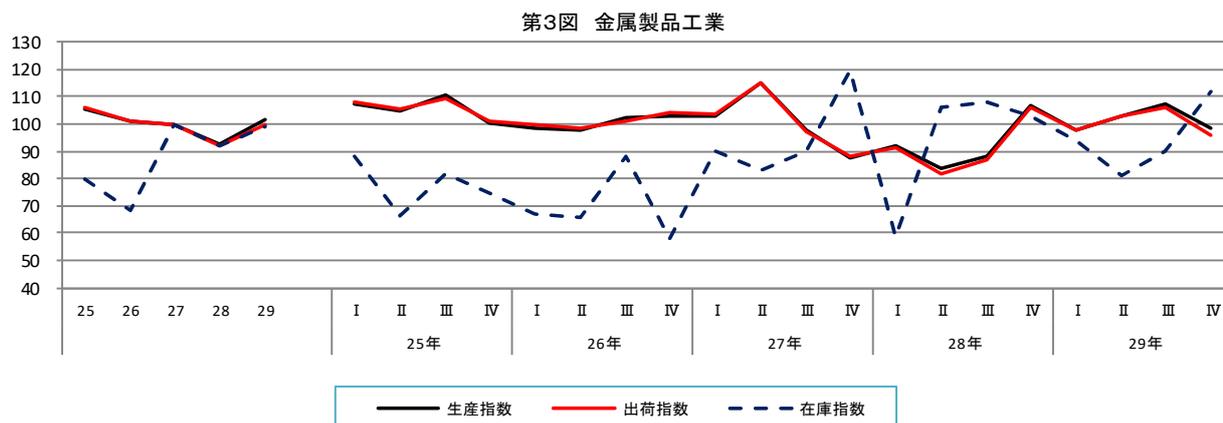
(2) 金属製品工業

生産指数は101.4（対前年比9.1%増）となった。

出荷指数は100.0（対前年比8.8%増）となった。

在庫指数は99.3（対前年比8.1%増）となった。

また、四半期の生産指数（季節調整済）をみると、対前期比でⅠ期は▲8.5%低下したが、Ⅱ期は5.7%、Ⅲ期は4.4%と上昇し、Ⅳ期は▲8.4%と再び低下した。



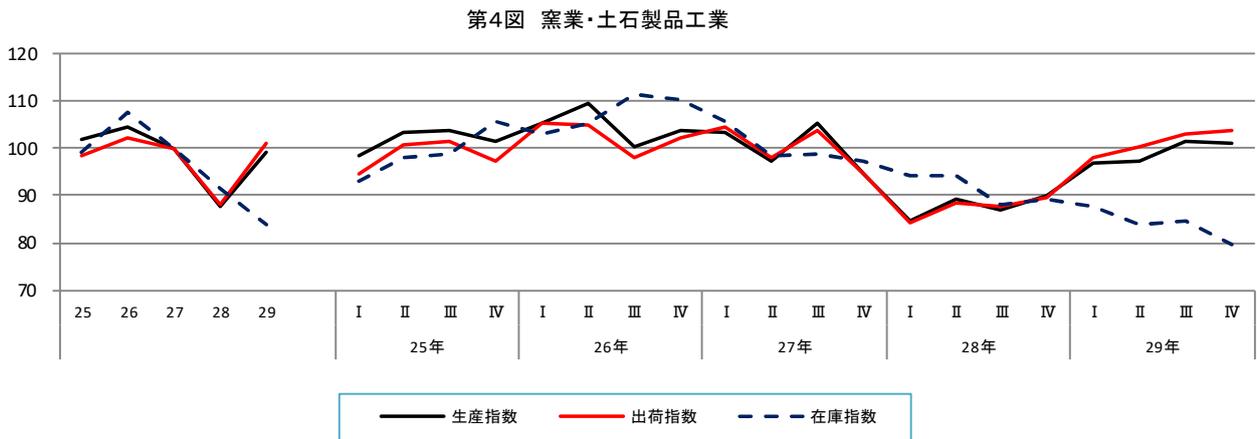
(3) 窯業・土石製品工業

生産指数は99.3（対前年比13.1%増）となった。

出荷指数は101.0（対前年比14.9%増）となった。

在庫指数は83.9（対前年比8.2%減）となった。

また、四半期の生産指数（季節調整済）をみると、対前期比でⅠ期は7.7%、Ⅱ期は0.3%、Ⅲ期は4.4%と上昇したものの、Ⅳ期は▲0.4%と低下した。



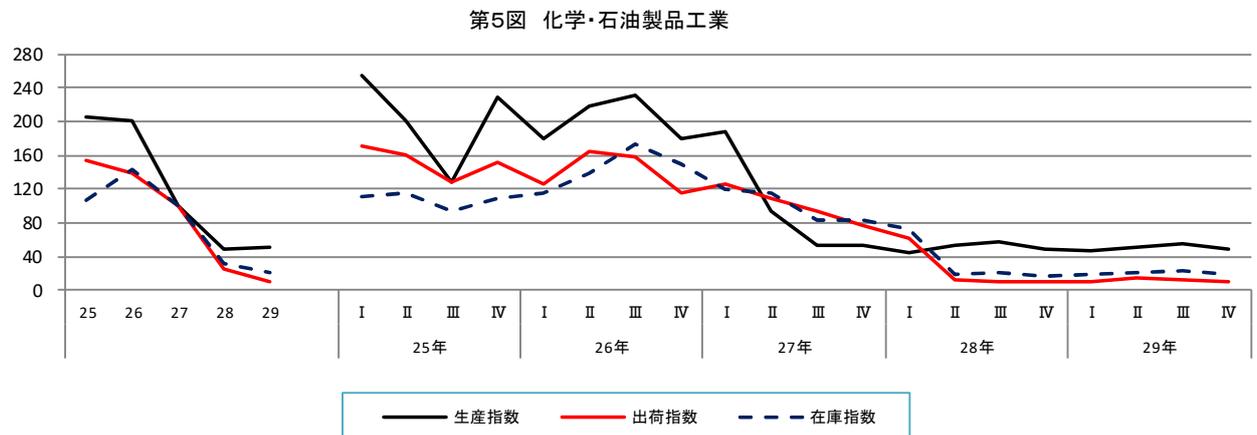
(4) 化学・石油製品工業

生産指数は51.1（対前年比2.6%増）となった。

出荷指数は10.8（対前年比58.9%減）となった。

在庫指数は20.3（対前年比37.7%減）となった。

また、四半期の生産指数（季節調整済）をみると、対前期比でⅠ期は▲4.3%低下したが、Ⅱ期は9.5%、Ⅲ期は5.8%と上昇し、Ⅳ期は▲11.5%と再び低下した。



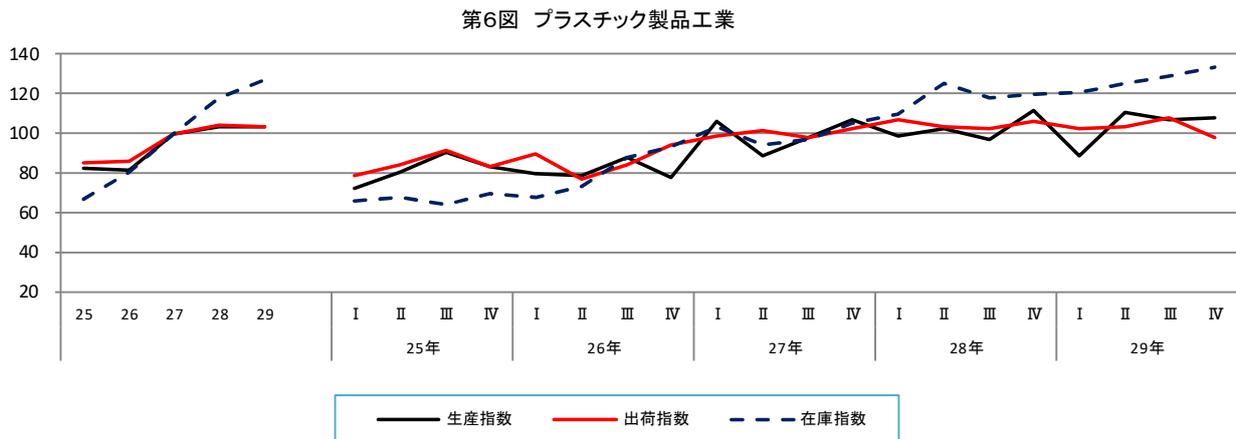
(5) プラスチック製品工業

生産指数は103.1（対前年比0.2%増）となった。

出荷指数は103.2（対前年比0.7%減）となった。

在庫指数は127.1（対前年比7.6%増）となった。

また、四半期の生産指数（季節調整済）をみると、対前期比でⅠ期は▲20.4%低下、Ⅱ期は24.4%上昇、Ⅲ期は3.2%低下、Ⅳ期は0.6%上昇した。



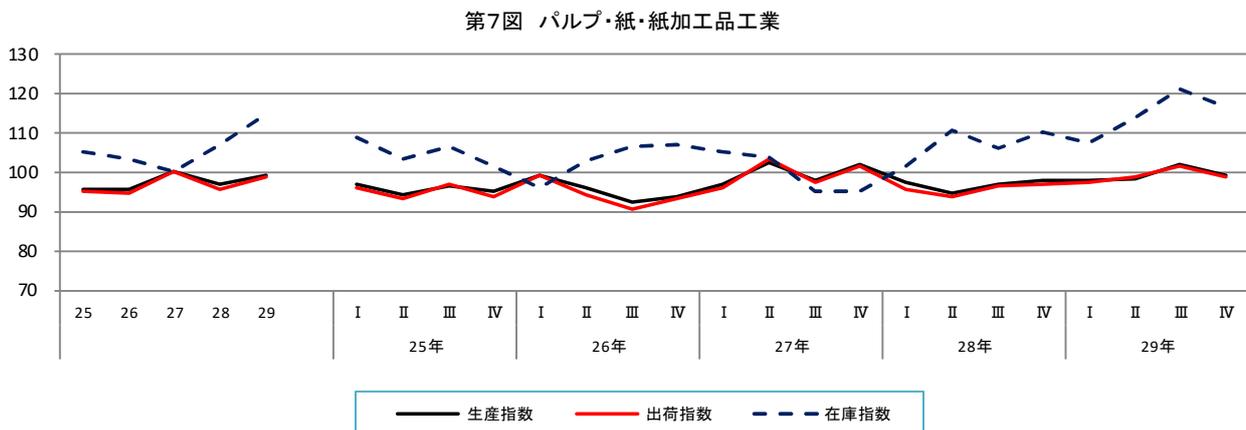
(6) パルプ・紙・紙加工品工業

生産指数は99.2（対前年比2.4%増）となった。

出荷指数は98.8（対前年比3.1%増）となった。

在庫指数は114.9（対前年比7.3%増）となった。

また、四半期の生産指数（季節調整済）をみると、対前期比でⅠ期は▲0.2%低下したが、Ⅱ期は0.6%、Ⅲ期は3.7%と上昇し、Ⅳ期は▲2.6%と再び低下した。



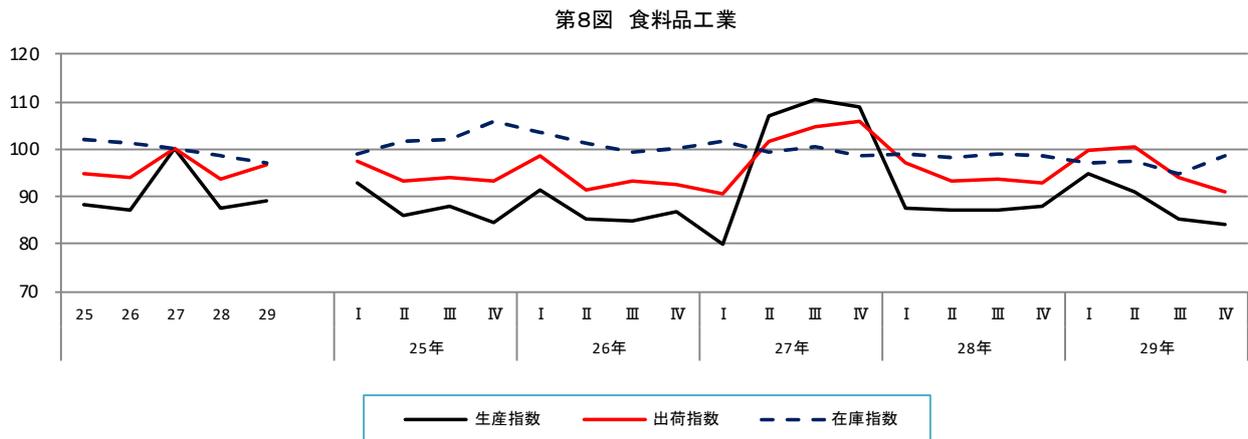
(7) 食料品工業

生産指数は89.2（対前年比2.1%増）となった。

出荷指数は96.5（対前年比2.9%増）となった。

在庫指数は97.0（対前年比1.6%減）となった。

また、四半期の生産指数（季節調整済）をみると、対前期比でⅠ期は7.8%上昇したが、Ⅱ期は4.1%、Ⅲ期は6.4%、Ⅳ期は1.3%低下した。



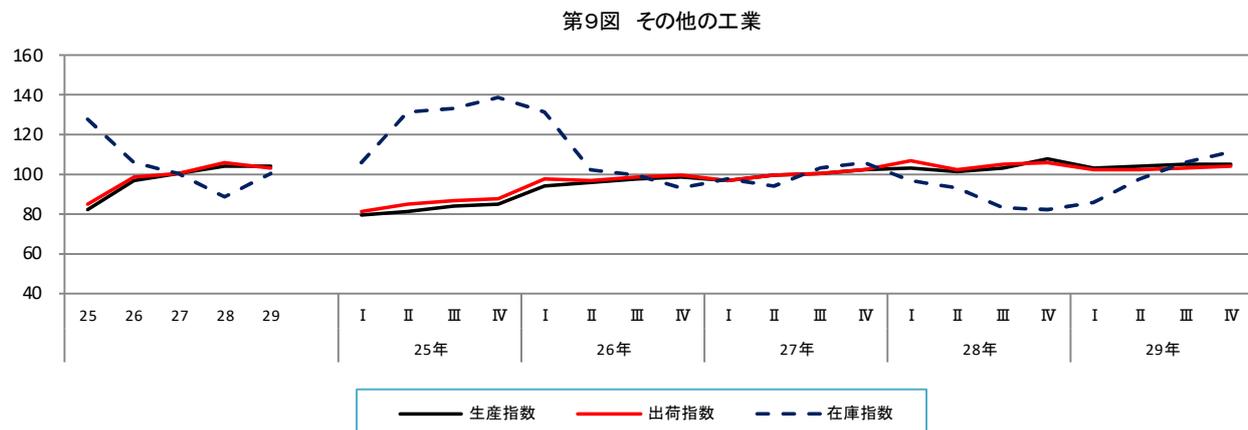
(8) その他の工業

生産指数は104.3（対前年比0.2%増）となった。

出荷指数は102.9（対前年比2.5%減）となった。

在庫指数は100.4（対前年比13.3%増）となった。

また、四半期の生産指数（季節調整済）をみると、対前期比でⅠ期は4.2%低下したが、Ⅱ期は1.2%、Ⅲ期は0.7%、Ⅳ期は0.4%上昇した。



(9) 鉱業

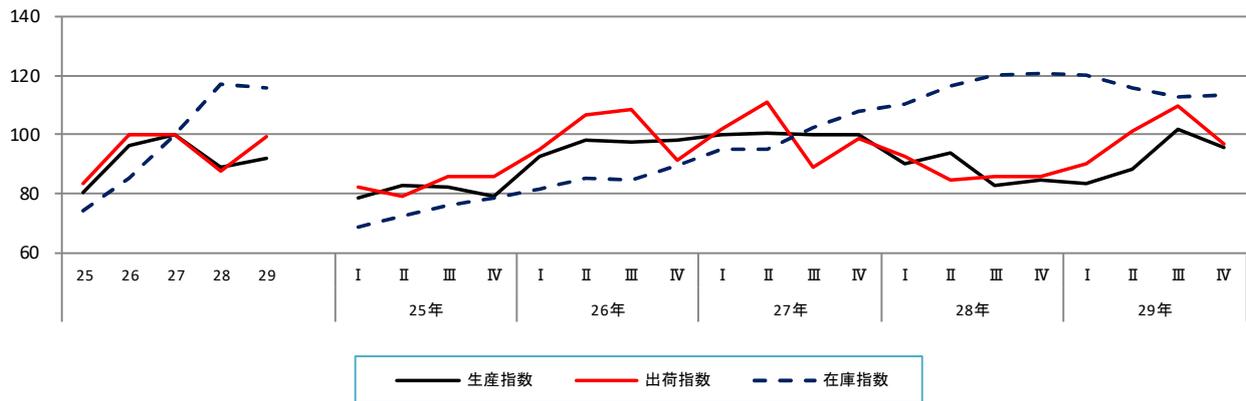
生産指数は91.8（対前年比3.5%増）となった。

出荷指数は99.2（対前年比13.1%増）となった。

在庫指数は115.7（対前年比1.1%減）となった。

また、四半期の生産指数（季節調整済）をみると、Ⅰ期は▲1.3%低下したが、Ⅱ期は5.4%Ⅲ期は15.5%と上昇し、Ⅳ期は▲6.3%と再び低下した。

第10図 鉱業



3 財別の動向

(1) 生産

生産の動向を財別にみると、

最終需要財は99.6となり、対前年比で5.1%の上昇となった。
生産財は75.3となり、対前年比で6.8%の上昇となった。

最終需要財の投資財は98.6(対前年比9.0%増)、消費財は100.5(対前年比1.6%増)となった。
生産財の鉱工業用生産財は68.8(対前年比15.8%増)、その他用生産財は83.2(対前年比1.1%減)となった。

(2) 出荷

出荷の動向を財別にみると、

最終需要財は96.5となり、対前年比で4.0%の上昇となった。
生産財は55.6となり、対前年比で5.0%の低下となった。

最終需要財の投資財は99.5(対前年比9.1%増)、消費財は94.5(対前年比0.6%増)となった。
生産財の鉱工業用生産財は66.5(対前年比11.4%増)、その他用生産財は47.8(対前年比17.0%減)となった。

(3) 在庫

在庫の動向を財別にみると、

最終需要財は88.9となり、対前年比で3.7%の低下となった。
生産財は49.8となり、対前年比で14.0%の低下となった。

最終需要財の投資財は83.5(対前年比6.2%減)、消費財は92.7(対前年比2.0%減)となった。
生産財の鉱工業用生産財は70.2(対前年比7.9%減)、その他用生産財は30.6(対前年比24.4%減)となった。

第6表 財別生産指数

平成27年=100.0

	ウェイト	生産指数(原指数)					対前年増減率(%)				
		25年	26年	27年	28年	29年	25年	26年	27年	28年	29年
鉱工業	10000.0	101.1	101.9	100.0	87.6	92.4	—	0.8	▲ 1.9	▲ 12.4	5.5
最終需要財	7032.8	103.3	103.0	100.0	94.8	99.6	—	▲ 0.3	▲ 2.9	▲ 5.2	5.1
投資財	3425.2	103.3	103.8	100.0	90.5	98.6	—	0.5	▲ 3.7	▲ 9.5	9.0
資本財	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
建設財	3425.2	103.3	103.8	100.0	90.5	98.6	—	0.5	▲ 3.7	▲ 9.5	9.0
消費財	3607.6	103.3	102.2	100.0	98.9	100.5	—	▲ 1.1	▲ 2.2	▲ 1.1	1.6
耐久消費財	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
非耐久消費財	3607.6	103.3	102.2	100.0	98.9	100.5	—	▲ 1.1	▲ 2.2	▲ 1.1	1.6
生産財	2967.2	95.9	99.4	100.0	70.5	75.3	—	3.6	0.6	▲ 29.5	6.8
鉱工業用生産財	1641.9	78.2	77.4	100.0	59.4	68.8	—	▲ 1.0	29.2	▲ 40.6	15.8
その他用生産財	1325.3	117.9	126.7	100.0	84.1	83.2	—	7.5	▲ 21.1	▲ 15.9	▲ 1.1

第7表 財別出荷指数

平成27年=100.0

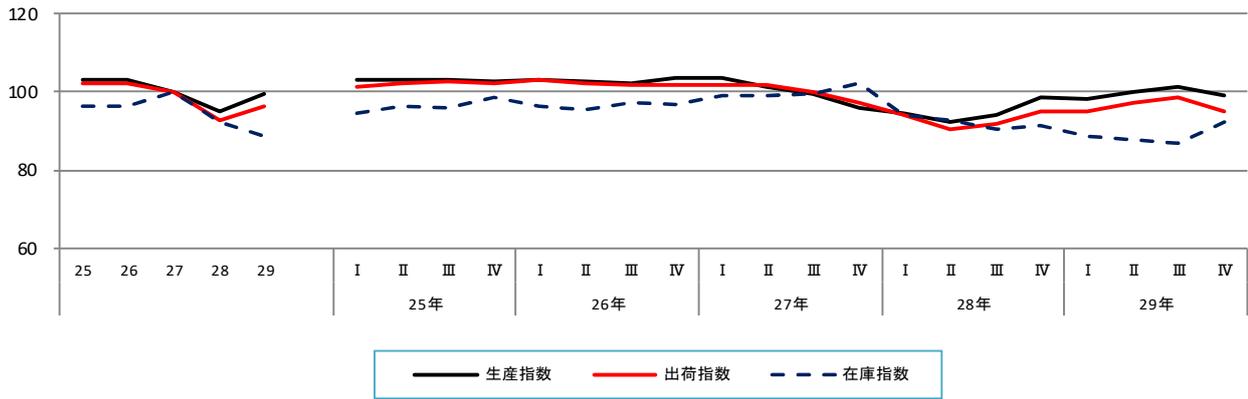
	ウェイト	出荷指数(原指数)					対前年増減率(%)				
		25年	26年	27年	28年	29年	25年	26年	27年	28年	29年
鉱工業	10000.0	106.3	105.1	100.0	81.4	83.0	—	▲ 1.1	▲ 4.9	▲ 18.6	2.0
最終需要財	6700.4	102.1	102.2	100.0	92.8	96.5	—	0.1	▲ 2.2	▲ 7.2	4.0
投資財	2765.9	101.5	103.1	100.0	91.2	99.5	—	1.6	▲ 3.0	▲ 8.8	9.1
資本財	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
建設財	2765.9	101.5	103.1	100.0	91.2	99.5	—	1.6	▲ 3.0	▲ 8.8	9.1
消費財	3934.5	102.5	101.6	100.0	93.9	94.5	—	▲ 0.9	▲ 1.6	▲ 6.1	0.6
耐久消費財	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
非耐久消費財	3934.5	102.5	101.6	100.0	93.9	94.5	—	▲ 0.9	▲ 1.6	▲ 6.1	0.6
生産財	3299.6	114.9	110.9	100.0	58.5	55.6	—	▲ 3.5	▲ 9.8	▲ 41.5	▲ 5.0
鉱工業用生産財	1376.2	100.0	96.4	100.0	59.7	66.5	—	▲ 3.6	3.7	▲ 40.3	11.4
その他用生産財	1923.4	125.6	121.3	100.0	57.6	47.8	—	▲ 3.4	▲ 17.6	▲ 42.4	▲ 17.0

第8表 財別在庫指数

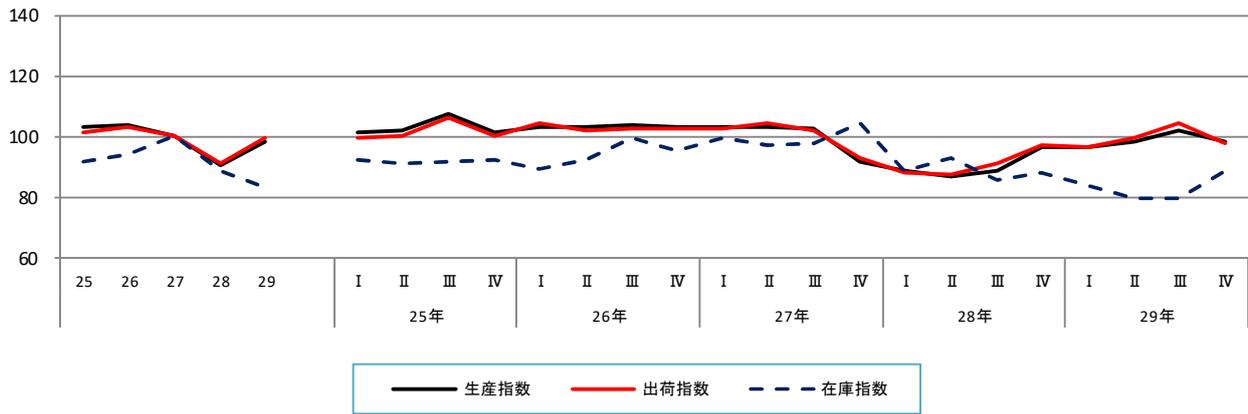
平成27年=100.0

	ウェイト	在庫指数(原指数)					対前年増減率(%)				
		25年	26年	27年	28年	29年	25年	26年	27年	28年	29年
鉱工業	10000.0	98.7	109.8	100.0	79.3	74.2	—	11.2	▲ 8.9	▲ 20.7	▲ 6.4
最終需要財	6230.0	96.5	96.4	100.0	92.3	88.9	—	▲ 0.1	3.7	▲ 7.7	▲ 3.7
投資財	2559.3	92.1	94.3	100.0	89.0	83.5	—	2.4	6.0	▲ 11.0	▲ 6.2
資本財	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
建設財	2559.3	92.1	94.3	100.0	89.0	83.5	—	2.4	6.0	▲ 11.0	▲ 6.2
消費財	3670.7	99.5	97.9	100.0	94.6	92.7	—	▲ 1.6	2.1	▲ 5.4	▲ 2.0
耐久消費財	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
非耐久消費財	3670.7	99.5	97.9	100.0	94.6	92.7	—	▲ 1.6	2.1	▲ 5.4	▲ 2.0
生産財	3770.0	102.3	132.1	100.0	57.9	49.8	—	29.1	▲ 24.3	▲ 42.1	▲ 14.0
鉱工業用生産財	1832.5	107.3	158.8	100.0	76.2	70.2	—	48.0	▲ 37.0	▲ 23.8	▲ 7.9
その他用生産財	1937.5	97.6	106.8	100.0	40.5	30.6	—	9.4	▲ 6.4	▲ 59.5	▲ 24.4

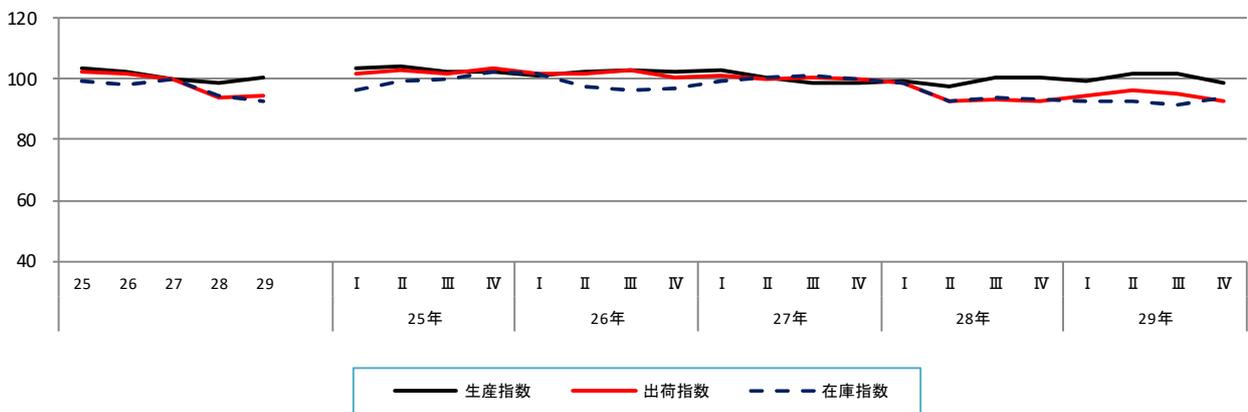
第11図 最終需要財



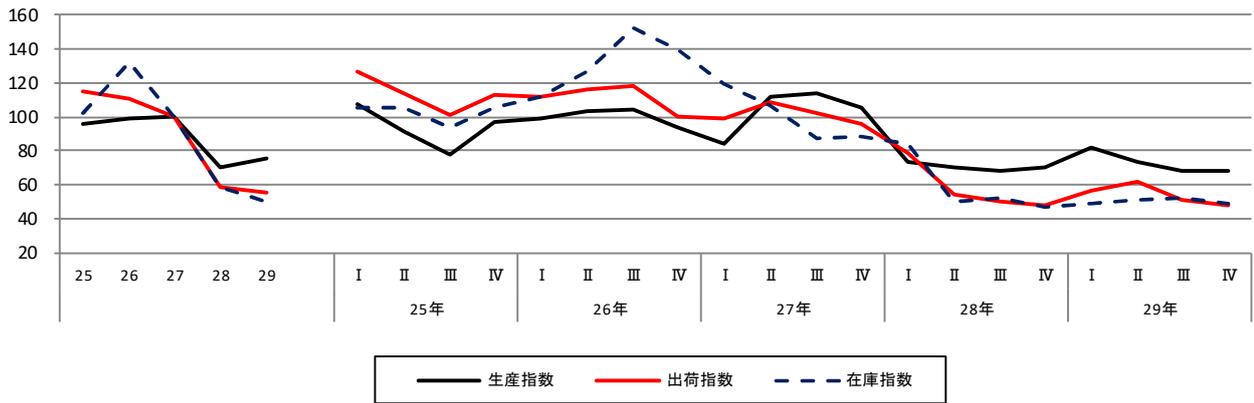
第12図 建設財



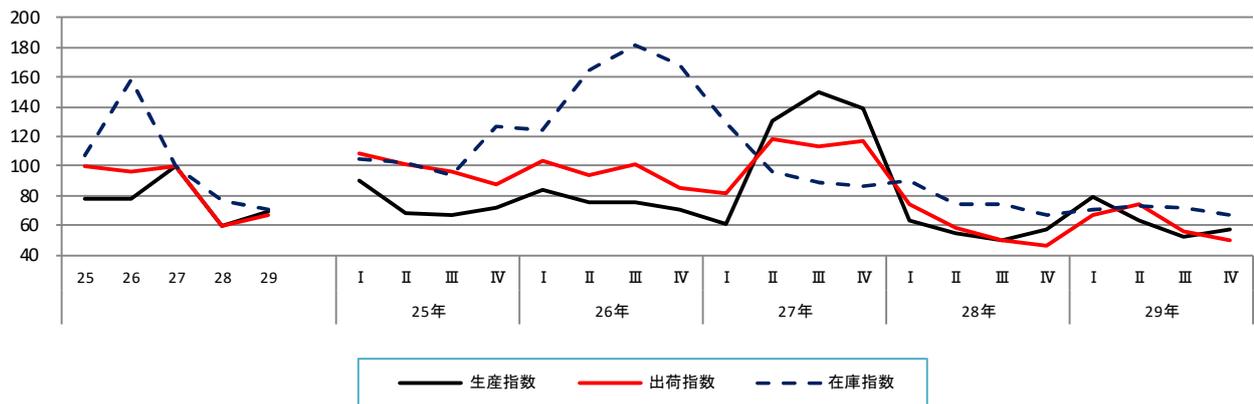
第13図 非耐久消費財



第14図 生産財



第15図 鉱工業用生産財



第16図 その他用生産財

